

確かな学びを育むために

課題を新たに設定する力

2月25日



本校では学習発表会がありました。各学年、これまで学習してきたことを、スライドを使ったり、劇化したり、合唱したりして発表しました。

2年生では後日、学習発表会の動画を見ながら練習したことが発揮できたところについて話し合いました。練習から意識してきた大事にしたいポイント(ゆっくり話す、相手の顔を見て話すなど)は意識しながら発表することができたよかったところについて振り返りながら、次は姿勢や、表情も意識していきたいと新しい課題を見つけていました。

年度末に近づいている中で、学んだことをまとめる時期にもなっています。しかし、今年度学んだことを活用したり、新たな課題を設定したりすることができる時期ともとらえています。

実物を使い、体験を通した学習

2月13日



学習の中では、実物を使い、体験することも大切にしています。

3年生は、旧山本家・竹ノ内街道歴史資料館に行き、実際に昔の使われていた道具を触ったり使ったりしてきました。6年生はキツザニアに行き、様々な職業を体験してきました。他の学年もこれまで社会見学に行き、実物を使ったり体験活動をしたりしてきました。

また、算数では文章問題の場面を、実物进行操作して考える時間も作るようにします。面積の学習では、運動場に線を引き、広さを実感したり面積を求めたりしました。

体験を目的にするのではなく、体験から自分事として始まる学習にすることで、学ぶ過程を大事にし、学んだことを深められるようにしています。



探究活動を通して

12月12日

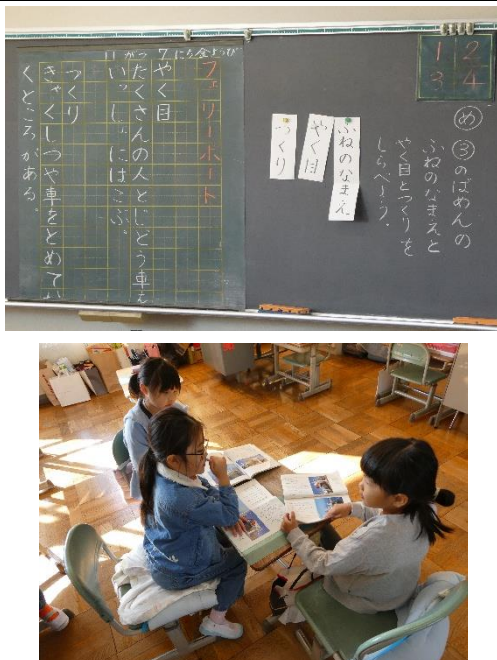


各教科で探究活動を取り入れながら学習を進めています。探究活動を進めていくために、自分で課題を捉え、課題設定をしています。6年生体育 バレーボールの授業では、作戦を使って得点をとることに課題を設定しました。作戦の中で自分が何をすることでチームに貢献できるか、そのために自分がどのような力をつけるべきか考え、試しながら学習しました。

また、仲間と学びあう協働的な学びも大切にしています。自分では気づかなかったことや、互いの意見の良さを確認しながらよりよい形に近づけられるようにしています。2年生生活 わたしたんけんの授業では、村探検で知ったことを、スライドを使いながら発表しました。原稿を読むスピードや表情など、発表をするときに意識すべきポイントを子どもたちと考え、その観点を使いながら発表の練習をしました。

文章を読み返す習慣

11月10日



低学年の国語では説明文の学習を進めています。1年生は『いろいろなふね』2年生は『ビーバーの大工事』の学習の中で、乗り物や動物の体の部位の役割について読み取っています。前の時間にどのように抜き出していたかノートや教科書を見直しながら考えていました。

また、推敲することも大事にしています。教科書の説明文を見本に、自分の説明したいことを取り上げて文章で書きます。教科書ではどのように説明していたか教科書を見直したり、友だちの文章を読みあったりしながらよりよい文章を目指していきます。教科書では比喩表現が出てくるので、比喩表現にもチャレンジしながらまとめていきます。

少人数指導

11月7日



本校では、3年生から6年生の算数で複数の教員による少人数指導を行っています。T.T.（チーム・ティーチング：1つの授業を2人の教員で行う）や、分割授業（クラスを2つに分けて行う）など、学習内容やねらいに応じて指導方法を工夫しています。

子どもたち一人ひとりの学習状況やつまづきを把握し、的確な支援ができるよう努めています。

この日は、大阪府教育委員会と千早赤阪村教育委員会の方々が、3年生の少人数指導の授業を参観されました。子どもたちは「円」の学習に取り組み、算数の言葉（円・中心・半径）を使って円の特徴を説明する活動を行いました。

いつもより少し緊張している様子も見られましたが、落ち着いて考え、意欲的に学習していました。

自分の考えを伝える力

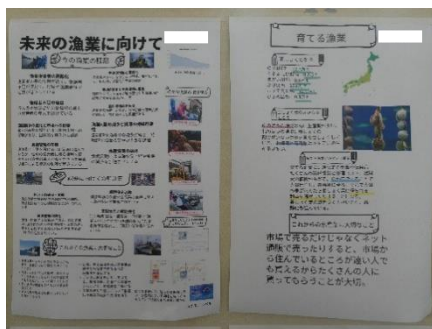
10月9日



学習の中で知識や技能を身に着ける活動も大切にしていますが、自分の考えを表現する活動も大切にしています。6年生の算数『データの特徴を調べて判断しよう』では、様々なデータを根拠にしながら自分の考えを発表しました。これまで扱ってきた平均値だけではなく、中央値、代表値などを使いながら自分なりの結論を出しました。また、発表では聞き手を意識した伝え方を考えました。

5年生の社会『水産業のさかんな地域』では学習したことをさらに深く調べ、新聞にまとめました。図や写真を使って様子がわかるように意識して作りました。

4年生の社会『自然災害にそなえるまちづくり』でも、様々な自然災害について調べ、スライドにまとめて発表しました。発表するために扱う言葉を詳しく調べたり、色を調整しながらスライドを見やすくしたりしました。



語彙を豊かにする

9月9日



千早小吹台小学校では、語彙力を育てることも大切にしています。

3年生 図工の学習では、国語で学習した様子を表す言葉からイメージを広げ、絵に表す学習をしました。

4年生 国語では、修飾語の学習をしました。主語や述語を詳しく表すために様々な言葉を出し合いました。

他学年、他教科でも、学習した言葉を使って考えを伝えたり、振り返りを書きまとめたりしています。

言葉は学習する内容を理解することや、自分の思いや考えを表現するために使います。語彙の質を高めることにより、子どもたちがより自分の考えや思いを伝えられるようになってくればと思います。

コミュニケーション能力を育てる

7月9日



千早小吹台小学校の5・6年生の外国語科、1～4年生の外国語活動でめざす子ども像は、

- ・自分の思いを、理由をつけながら臆せず伝え合おうとする子ども
- ・相手の思いをくみ取り正しく聞こうとする子どもの2つです。

7月1日には学識経験者の講師をお招きして、研修会を開きました。当日は2年生の外国語活動、6年生の外国語科の授業の様子の動画を見ながら、授業力向上を目指して研修を実施しました。

低学年の頃から英語の音声に十分に慣れ親しませながら、中学年への活動、そして高学年の学習へと繋げていきます。また、英語を使う必然性の場面として、オーストラリアの小学校と交流することも特色の一つです。



情報活用能力を育てる

6月9日



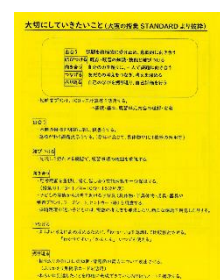
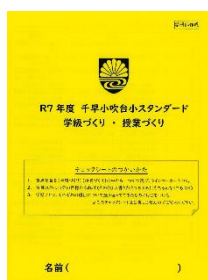
情報活用能力を育てていくために、1人1台タブレットPCを活用した授業にも取り組んでいます。様々な教科で調べ学習をする時にはインターネットで検索などをしたりすることはすぐに想像がつくと思います。

それだけではありません。写真を記録として保存したり、調べたことや考えたことをタブレットPCでまとめたりする思考ツールとして活用したりすることもあります。さらに友達と交流したりする協働学習の場面で活用したりすることもあります。以前に比べるとタブレットPCは学習時においてもより身近なものになりました。

効果的なタブレットPCの活用ができるように、5月27日には情報コーディネータに來校していただき、授業の様子を見ていただきました。指導助言をしていただいたことを今後の取り組みに活かしていきます。

確かな学びを育むために、この1年間大切にすること

5月9日



学級づくりチェックシート	授業づくりチェックシート
<p>1. 学級づくりの目的を明確にする。</p> <p>2. 学級づくりの目標を設定する。</p> <p>3. 学級づくりの計画を立てる。</p> <p>4. 学級づくりの実行を進める。</p> <p>5. 学級づくりの評価を行う。</p>	<p>1. 授業づくりの目的を明確にする。</p> <p>2. 授業づくりの目標を設定する。</p> <p>3. 授業づくりの計画を立てる。</p> <p>4. 授業づくりの実行を進める。</p> <p>5. 授業づくりの評価を行う。</p>

千早小吹台小学校では、教員が学級づくり・授業づくりで1年間大切にしていきたいことをまとめた“千早小吹台小スタンダード”を作成しています。

- ・ 安心な空間
- ・ 自分で考えて動く力
- ・ 集中して取り組む
- ・ 子どもとの関わり
- ・ 学習の準備
- ・ 指導方法の工夫
- ・ 授業転換の工夫

教員がそれぞれの項目を意識しながら、学級づくりや授業づくりを行うことで、子どもたちの確かな学びを育むことにつなげていきます。